

令和5年度第1回日の出町総合教育会議 議事録

- 1 開催日 令和5年10月25日(水)
- 2 開始時刻 午後3時25分
- 3 終了時刻 午後4時17分
- 4 場所 教育センター2階 多目的会議室
- 5 出席者
町長 田村みさ子
教育長 小林道弘
教育長職務代理者 浜松裕子
教育委員 古山吉利
教育委員 小林作二
教育委員 高野泰弘
- 6 欠席者 なし
- 7 出者説明員
学校教育課長 萩原哲
指導室長 平崎一美
指導主事 長保雄一
子育て福祉課長 関谷好史
こども家庭センター準備担当課長 田中雅司
- 8 事務局職員
企画財政課長 木崎義通
企画財政課企画係長 湯本洋和
学校教育課庶務係長 清水強
企画財政課企画係 石川敬大

1 開 会

木崎企画財政課長

只今から、令和5年度第1回日の出町総合教育会議を開会いたします。

私は、事務局の企画財政課長木崎でございます。よろしくお願い申し上げます。

この会議は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4」の規定に基づき設置される会議で、構成員は、町長及び教育委員会で町長が招集することとされております。

次に、事務局の職員に異動がありましたので、この場を借りて紹介申し上げます。

湯本企画係長

4月より企画係長に着任いたしました。本会議の事務局として関わっております。よろしくお願いいたします。

木崎企画財政課長

それでは次第によりまして進めさせていただきます。次第の2町長挨拶、田村町長よりご挨拶申し上げます。

2 町長挨拶

田村町長

本日は大変お忙しい中、令和5年度第1回総合教育会議にご出席いただきありがとうございます。新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、様々な行事が再開されはじめ、子供たちにも活気ある笑顔が戻っているのではないかと思います。

本日の総合教育会議では、来年度中の開設に向けたこども家庭センターの進捗状況について、また地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的推進に向けて、そして日の出町教育委員会及び日の出町立学校におけるいじめ防止対策と不登校対策等が議題にあがっております。町では、今年策定いたしました日の出町教育ビジョン2023の理念や基本方針を具現化するさまざまな取り組みが小・中学校で行われております。こども家庭センターの開設に向けても日々努力をして取り組んでおります。こうしたものについては子育ての現場だけでなく、地域全体で取り組むことがとても大切でございます。社会全体で子供たちを支えてくための有意義な会議になりますよう、本日はよろしくお願い申し上げます。

3 議題及び報告事項

(1) 「日の出町教育ビジョン2023（日の出町教育大綱）」の実現状況と今後

平崎指導室長より資料に則り報告

(2) 日の出町における地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的推進に向けて

平崎指導室長より資料に則り報告

(3) 日の出町教育委員会及び日の出町立学校におけるいじめ防止対策と不登校対策
長保指導主事より資料に則り報告

(4) こども家庭センターの進捗状況について
田中こども家庭センター準備担当課長より資料に則り報告

●質疑応答

田村町長

報告ありがとうございました。質問などございますでしょうか。

先ほど議題(4)の報告でもお話があったとおり、同じ子どものことですので、こども家庭センターと教育委員会とが連携しながら進めていくのがより良い形なのではないかとわたくしも考えます。就任から2年6か月になりますが、最初の年に羽村市こども家庭支援センターの取組みについて視察を行い、日の出町としても継続して力を入れている分野でございます。親御さんだけでなく、社会全体で子どもたちを育てていくということの重要性を再認識しております。

小林教育長

こども家庭センターの資料を拝見する限り、現段階では教育委員会との関わりがないように感じます。今後は法の改正など大きな変化があり、教育部門も入っていけるようにならなければいけないと思います。

田村町長

本来ならそのように変化していかなければならないと思います。国なども一時期は力を入れておりましたが、省庁の壁などがあるためかうまくいっていないようです。

ただこうした小さな町では、所管同士の庁内的な連携などで乗り越えられることがあると考えております。具体的な事例が出てくれば連携も必要になってくると思います。その時はお声をかけさせていただきますので、コツコツと事例を積み重ねて、日の出町の方式を作り上げていければと思います。

議題(2)の報告によりますと、コミュニティ・スクールのメンバーとして、学校の生徒さんが参加されるようなところもあるのですね。

平崎指導室長

規則や制服を変えたいという生徒たちで有志を募り、学校運営協議会に提案して、保護者会などで検討を行った学校がありました。子どもの意見表明をしっかりと採り入れ、子どもたち自ら学校づくり、まちづくりに関わってもらうために、オブザーバーに入れるといった取り組みも行われております。

また先ほどのお話で、こども家庭センターに教育がどのように関わっていくのかという点に

関しましては、施設や事業で分けてしまうのではなく、「子どもの成長」という境界のない共通の理念を掲げ、お互いが関わっていくのが大事になると考えます。そしてそれが教育ビジョンの充実にもつながるのではないかと考えました。

田村町長

わたくしたちがやっているのは地方自治ですので、連携なども町独自でかまわないと考えています。町にとって、町民にとってどうなるか、合意を頂けるかを第一にいろいろな話し合いに町民の皆様も参加していただいきたいと考えています。そしてそういった話し合いが、結論をだすためというわけではなく、日常的に行われるというようになるまで続けていくことに意味があると思います。

浜松委員

親子関係が難しいご家庭やお子様が増えている中で、こういった施設を充実させていただいているのは、相談などもしやすくなりとても良いことだと思います。

田村町長

保育園に入らない方等に向けたあずかり保育（一時預かり）を各保育園さんがやってくださっています。とても必要なサービスだと考えています。他の自治体では、こどもセンターのようなところに、小さなお子様を連れた親子がいて、高校生が勉強するようなスペースがあります。畳の部屋も用意されており、保健師さんが子どもを見ている間にお父さんお母さんが休めるようになっていて、その利用がかなり多いそうです。子育ては本当に大変なことであり、こども家庭センターはそういった方に寄り添えるような場所にできればと思っています。

浜松委員

核家族化なども進んでいるので、相談したり頼ったりできる場所が必要です。

田村町長

そういった場所がないということが家庭環境に影響し、虐待や不登校などにつながってしまうのではないかという懸念もあります。

現在も一時保育などの利用は多いのでしょうか。

高野委員

現在は希望すれば保育園に入れるようになってきているので数自体は減っていますが、子育て支援として行っている一時預かり自体は毎日のように利用があります。少しの時間でも子どもを気にせず、休憩できる時間があるというのがうれしいという声が多いです。

浜松委員

立川に児童相談所ができるという話を聞いたことがあります。

田中こども家庭センター準備担当課長

立川には現時点でできています。今後は西多摩地域にできるよう、東京都が場所の選定などで既に動いております。

浜松委員

近くにあるといいなと思っていたので、とても良いことだと思います。

田村町長

その他になれば、本日は以上で終了といたします。

(5) その他

木崎企画財政課長

本会議は例年2回開催しております。次回は令和6年2月を予定しております。

4 閉 会

木崎企画財政課長

皆様ありがとうございました。最後に田村町長から会議の総括を申し上げます。

田村町長

総合教育会議について、丁寧な説明とご意見いただき、ありがとうございます。委員の皆様におかれましては長時間お疲れ様でございました。前回、本年の2月21日に開催した会議では、日の出町教育ビジョン2023が教育大綱に位置付けることに皆様のご承諾をいただきました。

今回の会議では教育ビジョンの具現化に向けた第一歩として日の出町における地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的推進に向けての報告がありました。学校と地域が一体となり、次世代を担う子どもたちの学びや成長を共に支える仕組みであると改めて感じました。丁寧に広報活動もしていただいておりますので、これからも伝え続けていきましょう。

また日の出町教育委員会及び日の出町立学校におけるいじめ防止対策と不登校対策については、専門職による相談支援や東京都による別室支援員の配置事業等を活用した、子どもの居場所作りや環境作りが進められております。より一層子どもたちの学習の機会が確保できればと思えました。

最後にこども家庭センターの進捗についてですが、実状だけでも令和6年4月の開設ができるよう進めてまいりたいと思っています。

報告にございましたとおり様々な取り組みがなされておりますが、日の出町教育ビジョン2023の進捗状況についても、引き続き本会議において取り上げてまいりたいと思います。本日は大変ありがとうございました。

木崎企画財政課長

以上で本日の会議は終了したいと思います。お疲れ様でした。